

支援センターだより

〒780-0972 高知市中万々78 番地

高知県立高知ろう学校 相談支援部

電話 088-823-1640 FAX 088-823-1752

令和2年度

第3号



今年の2学期の始業式は各市町村で異なり、授業日数の関係で早く始まった学校も多かったのではないのでしょうか。本校は、8月27日から2学期が始まり初日から授業を開始しましたが、最近の補聴機器は騒音抑制機能がよくなってきているからでしょうか、生徒からエアコンや扇風機、セミの鳴き声で聞き取りにくいという訴えを聞かなくなってきました。しかし、マスク越しの会話は声の聞き取りがしにくくなっています。補聴機器の調整をすることで改善することもあるようです。補聴器店頭で相談をしてみてもどうでしょうか。また、フェイスシールドは反射して表情が見えづらいので、マウスシールドを使用して口形を読み取りやすくしている学校もあります。



コロナ禍の中での教職員研修

◎令和2年度高知県教育センター共催講座「特別支援教育講座」は、オンライン会議システムを活用して本校で行われました。

◎令和2年度特別支援学校教育課程研究集会も、同様に行われました。

講師は、筑波技術大学産業技術学部 准教授若月大輔先生。

講師と本校の5か所、参加された中学校をつないで、遠隔研修の形で実施しました。講演は「ICTを活用したコミュニケーションと授業づくり」という内容で、各学部の授業についてご助言をいただくとともに、大学で行われているリモート講義の形を実践していただき参考になりました。また、本校幼稚部、高等部、小学校特別支援学級の実践発表もあり全体共有ができました。

◎全日本聾教育研究大会は、授業や研究発表がオンデマンド配信され、研究協議や記念講演はオンライン会議システムを活用し、高知に居ながら参加できる大会になりました。



高知ろう学校・難聴児通所による令和2年度合同相談会（西部）

今年は3件の申し込みがあり、8月21日、幡多児童相談所の聴力検査室をお借りして県立療育福祉センターの言語聴覚士による聴力検査や保護者、担任の先生からの相談、児童生徒への支援を行いました。幼児期から切れ目のない教育相談を行い、聴力の状態によっては耳鼻科への通院をすすめたり、補聴器等の点検や調整の必要性の有無をお伝えできました。また、学校や家庭での学習や生活上での悩みを一緒に考え、成長を感じることができました。

中部・東部地区の方のご相談は、随時本校でお受けしますので上記へ連絡をしてください。

お知らせ



運動会、文化祭について



今年の運動会は、本校幼児児童生徒とその家族の参加とさせていただきますので、ご了承ください。また、文化祭はそれに代わる学習の発表の場を設け、参観していただく予定です。